

きざいち おはなしばたけ通信

平成24年(2月20日)
交野市立 和布小中学校
読書ボランティア
きざいちおはなしばたけ

今年の漢字は「金」に決まりました。皆様的一年はどんな漢字になりましたか？
さて おはなしばたけの活動は 子どもたちが本を手にとって読みたい! と思えるような環境作りを大切にしたいと思っています。そこで 絵本の読み語りの他に、図書の新着整理、壁面飾りの制作、子ども新聞綴り、など 学校図書館にて活動しています。(水曜日、午前中、行事によって変更あり。)
図書館にいと、中休みには子どもたちが本を借りにやってきます。「〇〇の本はありますか？」など聞きに来てくれたりします。図書館に「いること」で子どもたちとの距離がぐっと近くなるような気がします。
絵本を読むことはもちろんでも 図書の作業をやってみようかな〜と思われ方は お気軽に 学校図書館にお越し下さいね。お待ちしております。

記録の七
5年
「どんどこどん」
和歌山 静子作
福音館

ノートには あらすじや感想、クラスの様子等書いています。その時々によって 子どもたちの反応が違い、日々勉強です! (∞)
葉っぱから 根菜をあていく絵本、最初は にんじんや じゃがいもなど わかりやすいものから始まりですが、さといもや ごぼうの葉にならと 子どもたちは「何やろ〜?」と様々な答えを... (VDR)

5年
「ケン王とトラ」
チェン・ジャン作・絵
平岡 敦 訳
徳間書店

中国の青銅器とトラに育てられた赤い虎の伝説から想像して作られた物語といいますが、ドラマチックな内容と迫力のある絵に引き込まれてしまいました。(私が... ∞)
子どもたちも!! (やすべ)

6年
「たかこ」
清水 真裕 / 文
青山 友美 / 絵
童心社

ぼくのクラスにやってきた転校生は ちょっと変わっていた。十二ひえを着て言葉も昔の言葉遣いの たかこ。たかこがクラスになじむまでのお話です。たかこの行動や言葉に、あと受けるのが一と聞いていたんですが、意外とちゃんと聴いてくれました。(シエルティ)

6年
「中もぞうぞうしてみん」
かがくのヒロシ 絵本
佐藤 雅彦
ナユメラテス
福音館

イス、ほうちやう、ポーレンなど...。中もぞうぞうになっている。想像してもらいました。みんな真剣かに聴かなくて! と分かったながらも、口々に「〇〇になってみんちやう?」と云っていました。楽しい時間になりました。(シエルティ)

低学年



『たのしい ふゆごもり』
片山 令子 / 著
片山 健 / 絵
福音館書店

低学年



『ゆきだるまのクリスマス!』
キャラリン・ピーナー / 著
マーク・ピーナー / 絵
せな あいこ / 訳
評論社

中学年



『クリスマスのかみどり』
ルース・ソーヤー / ほか文
上條由美子 / 編・訳
たかお ゆうこ / 絵
福音館書店

中学年



『クリスマス・キャロル』
リズベート・ツヴェルガー / 絵
チャールズ・ディケンズ / 作
吉田新一 / 訳
太平社

高学年



『ビートのスケートレース』
ルイズ・ポードン / 作
ニキ・ダラー / 絵
ふなとよし子 / 訳
福音館書店

高学年



『たったひとつのねがいごと』
バーバラ・マクリントック / 著
福本友美子 / 訳
ほるぷ出版

大人



『10代の本棚
こんな本に出会いたい』
(岩波ジュニア新書)
あさの あつこ / 編著
岩波書店

ぼつろりときゃ
街にはポインセチアが 映え、クリスマスソングが流れています。
「サンタクロースって、いるんでしょか?」
(借衣社) アメリカに住むハチの女の子が、パパに聞きました。パパは「サンくんが、んに」といって、ざんげ。しんぶんして、サンタクロースがいるというなら、それやもうたしかに、いるんだらうよ」と言いました。その後、新聞社はなんと「社説」に取り上げ、お返事しました。
およそ百年も前に、アメリカの新聞社は、子どもの疑問に向き合い、真摯に答えてくれました。
今、私たちは、子どもの声をきいて、と聴いているでしょうか、
この冬、目に見えないものの、不可思議さをみつけてみませんか?
今年も通信を読んでいただき、ありがとうございます。
かとうごまいました。よい年をおかえ下さい。(シヨウ)